



誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか

# 石岡ゆめ創生プラン

令和2年度～令和3年度







# 『石岡ゆめ創生プラン』

## 策定にあたって

本計画の策定にあたりましては、「共生・共育・共働のまちづくり」をキーワードとして、市の方針と位置付けました。長期的な将来構想である「石岡かがやきビジョン」における将来像「誰もがいきいきと暮らし 輝くまち いしおか」を実現するため、この方針に基づき、施策を展開してまいります。

現在、社会を取り巻く新型コロナウイルス感染症の脅威に対して、感染症予防および市民生活、地域経済の維持回復は喫緊の課題であります。市民の皆様の不安感を払拭するためにも、感染防止・経済・教育などの様々な側面から対策を講じ、市が一丸となり一刻も早い収束に向けて進めてまいります。

本計画は、市の方針を実現していくため、『石岡かがやきビジョン』で掲げた7つの政策目標を達成するための47の基本施策とあわせて、より重点的に実施するリーディングプロジェクトを設定しております。現在の社会情勢に緊急対応するものを含めた7つのプロジェクトで構成しており、通常の事務事業や施策の垣根を超えて、より効果的な施策展開を図ってまいります。

いまこそ、市民が一つになり「夢のある石岡」「夢を描ける石岡」づくりを実現するときです。「共に生きる 共に育つ 共に働く」石岡を目指して、石岡の将来像を実現するため、市の総力をあげてまいります。

石岡市長

谷島 洋司



# 目次

## 第1章 はじめに (総論)

---

---

1 アクションプランについて	・・・	2
----------------	-----	---

## 第2章 アクションプラン (行動計画)

---

---

1 市の方針	・・・	6
2 施策共通テーマ	・・・	9
3 リーディングプロジェクト	・・・	13
4 施策別行動計画 (基本施策)	・・・	16
▶ 政策目標1 都市基盤	・・・	21
▶ 政策目標2 産業・経済	・・・	39
▶ 政策目標3 生活・環境	・・・	49
▶ 政策目標4 消防・防災	・・・	65
▶ 政策目標5 健康・福祉	・・・	75
▶ 政策目標6 教育・文化	・・・	93
▶ 政策目標7 行政運営・経営	・・・	109



# 第1章 はじめに（総論）

---

## 1. アクションプランについて

# 1 アクションプランについて

## (1) アクションプランの構成と趣旨

策定する計画は、将来ビジョン(将来構想)である「石岡かがやきビジョン」(別冊)とアクションプラン(行動計画)である「石岡ゆめ創生プラン」(本冊)で構成されています。

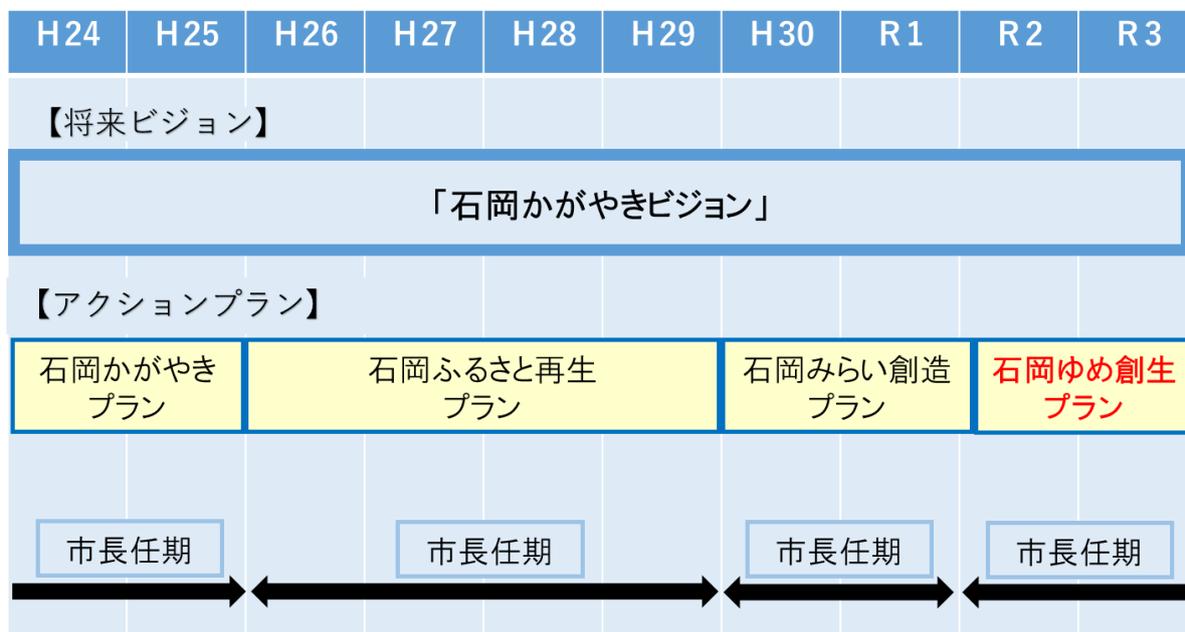
将来ビジョンは、長期的な展望に立ち、石岡市の目指すべき将来像とその実現のための政策展開の基本方針を示すものとして策定されました。

アクションプランは、将来ビジョン実現のための施策の展開方向や成果指標、主な活動を分野別に示した、市長任期と連動した実行性の高い計画であり、石岡市が直面している課題に対応しつつ、将来ビジョンで見据えた目指すべき将来像に向けた礎づくりと、リーディングプロジェクトによる魅力的なまちづくりを進めていくため、市長の任期期間で何を目指し、どのように行動していくのかを示す計画として策定します。

## (2) アクションプランの期間

策定するアクションプラン(石岡ゆめ創生プラン)は、市長の政策提案を踏まえ、石岡市が直面する課題を克服し、将来像「誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか」実現のため、市長任期に合わせた施策目標を設定するとともに、魅力あるまちづくりのため、通常の事務事業や施策の垣根を越えたリーディングプロジェクト(石岡ゆめ創生プロジェクト)を設定します。

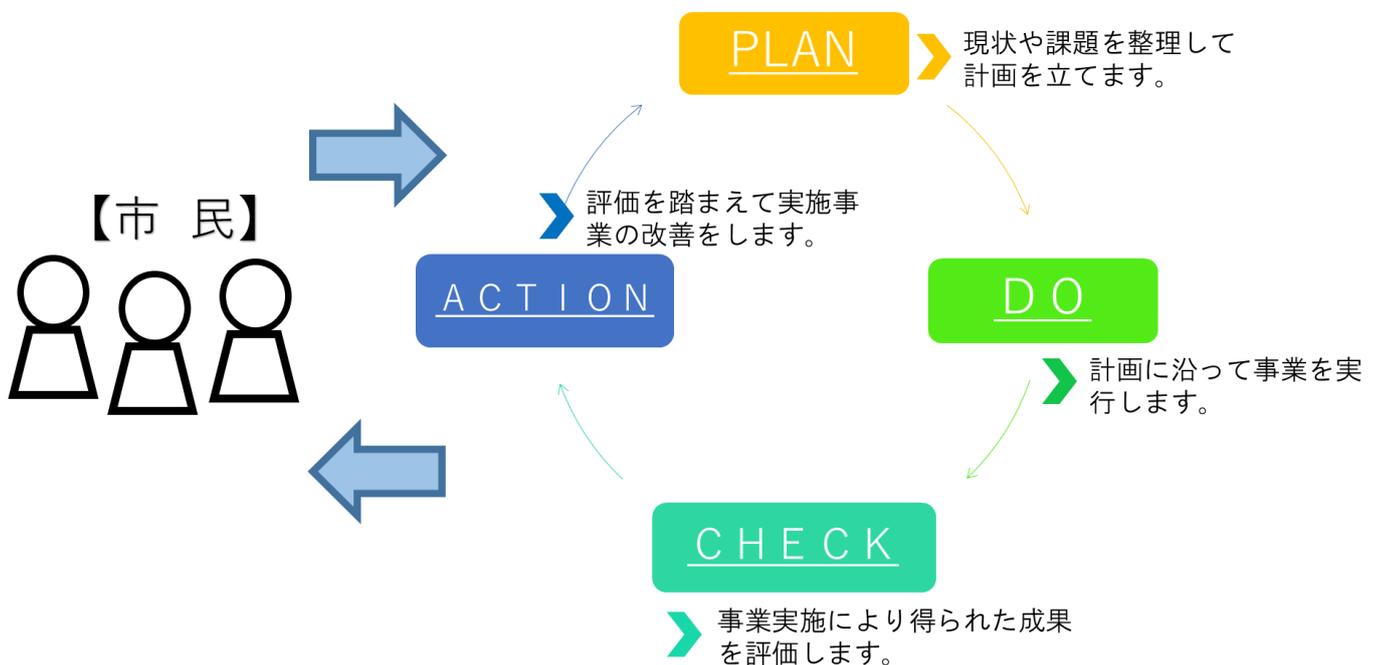
【10年間の将来ビジョンに基づいた、市長任期連動型のアクションプラン】



### (3) アクションプランの進行管理

アクションプランを着実に実行していくため、PDCAサイクルにより毎年度、進捗状況を踏まえた内容の見直しを行います。

アクションプランは実行性の高い行動計画であるとともに、環境の変化や多様な市民ニーズに的確に対応するため、毎年度の進行管理・内容の見直しにより、改善を続ける計画でもあります。





## 第2章 アクションプラン（行動計画）

---

1. 市の方針
2. 施策共通テーマ
3. リーディングプロジェクト
4. 施策別行動計画（基本施策）

# 1 市の方針

## (1) 市の方針とは

市の方針とは、将来ビジョン実現に向け、アクションプラン全体において重点的に実施することを示すものです。当市の抱える課題や多様な市民ニーズに的確に対応する4年間の市の方針を定めることにより、全施策において、統一性のある事業展開を図り、限りある財源の中で、より効果的なまちづくりを図っていきます。

## (2) 当市の状況について

当市の人口は、平成17年の合併時から約9千人減少しており、その対策は、市の活力維持を図る上では喫緊の課題となっています。近年では、人口の社会動態による減少が縮小している傾向にあります。しかし、若い世代の転出が多い傾向にあることや、出生数の低下が生じており、少子化と高齢化の進行とともに生産年齢人口の減少が見込まれています。

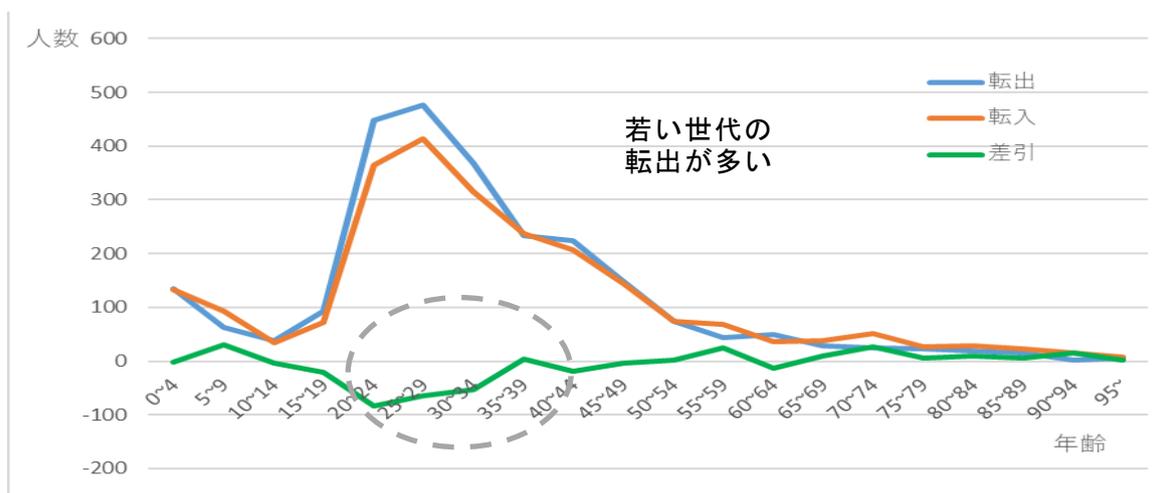
そのような中、常磐線の東京駅・品川駅乗り入れや石岡駅の橋上化整備など都市の魅力の向上や、つくば霞ヶ浦りんりんロードのナショナルサイクルルート指定など、新たな地域づくりの可能性が高まっています。

(参考) 石岡市の人口動態

(茨城県常住人口調査)

年	人口 (10.1)	人口動態 (1~12月)	自然動態			社会動態		
			出生	死亡	計	転入	転出	計
H28	75,346	△ 718	508	964	△ 456	2,163	2,425	△ 262
H29	74,666	△ 704	463	943	△ 480	2,162	2,386	△ 224
H30	73,883	△ 795	464	1,005	△ 541	2,310	2,564	△ 254
R1	73,110	△ 723	414	1,046	△ 632	2,412	2,503	△ 91

・ 年齢別社会動態 (平成31年1月~令和元年12月)



### (3) 目指す将来像について

市の将来構想である石岡かがやきビジョン(平成 24 年度～令和3年度)において、市の目指すべき将来像を次のように定めています。

#### 将来像 「誰もがいきいきと暮らし 輝くまち いしおか」

目指すべき将来像は、当市が将来にわたって「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」であるために、市民誰もが健康で生きがいを持って心豊かに暮らせる、安全で安心なまちづくりの姿を示し、そして、地域全体が一体となって若い世代を育み、誇りを持って「石岡が大好き」と言える魅力あふれる輝くまちづくりを市民と行政の協働により進めていく姿を示しています。

### (4) 市の方針

石岡かがやきビジョンを達成するための市の方針を次のように定めます。

#### 市の方針 「 共生 ・ 共育 ・ 共働 」

##### ■ 共生のために

現在、社会を取り巻く新型コロナウイルス感染症拡大を受け、市民生活や地域経済を支援する施策を迅速かつ効果的に実行していく必要があります。

緊急対応段階として、感染拡大防止対策や緊急支援対策を講じてまいります。次に、市民生活・地域経済の継続や回復段階として、社会経済活動への支援等を展開し、より強靱な社会構造を構築するための施策を講じます。

また、安心・安全・快適に生活できる環境づくりのため、石岡市が抱える課題に対策を講じ、市民生活の向上や都市基盤の充実を図り、「共に生きる」石岡を推進します。

##### ■ 共育のために

少子高齢化が進む中で、住んでみたいまち、住み続けたいまちであるため、結婚・子育てがしやすい環境づくりや、健康で生涯にわたり現役で暮らせる環境づくりを推進します。また、地域資源を活用した、石岡ならではの教育の充実を進め、未来の担い手育成に努めます。地域と連携し、誰もがいきいきと学び創意と活力に満ちた「共に育つ」社会を目指します。

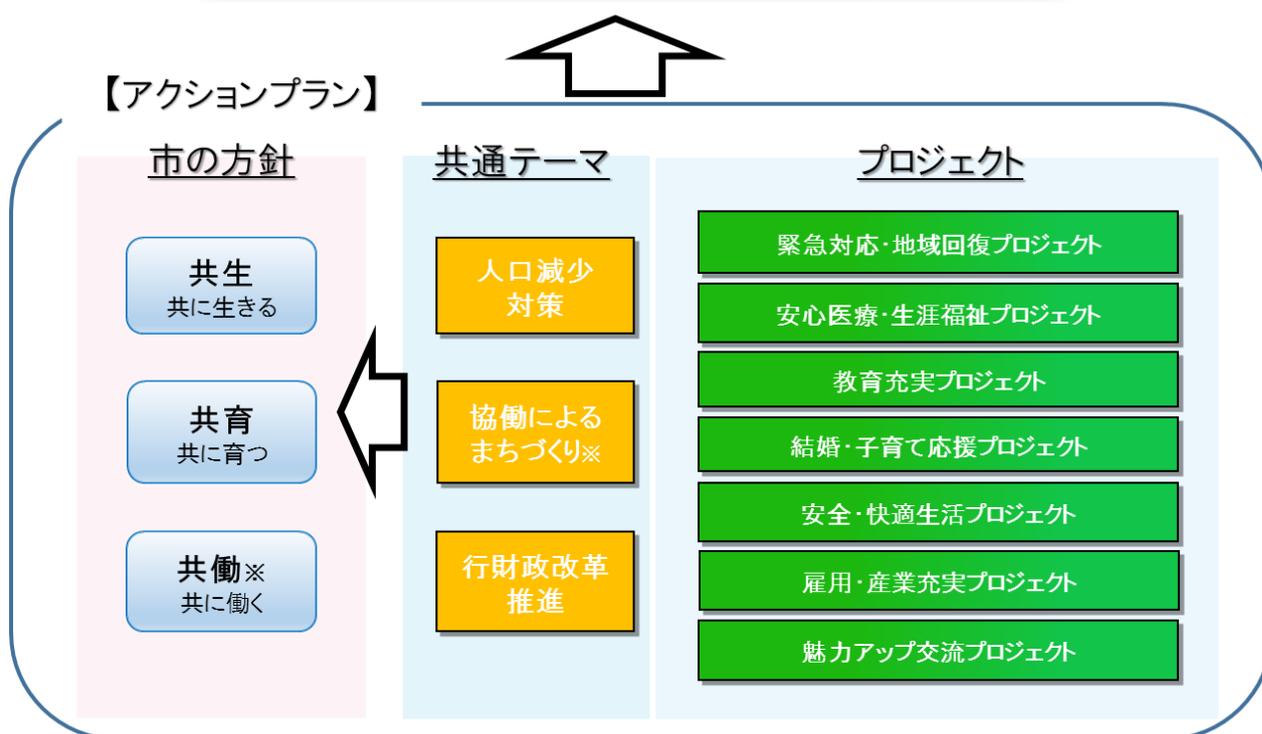
## ■ 共働のために

人口減少に歯止めをかけるための対策を講じ、雇用の創出や就業機会を増やしていくための施策を展開し、石岡の特性を生かした地域産業の振興等、産業の充実に向けた支援を行います。石岡をみらいへ繋ぎ、魅力あふれる地域資源の情報発信や個性輝くまちづくりに取り組み、「共に働く」社会を創生していきます。

将来像の実現に向け、市民と共に「夢のあるいしおか」「夢を描けるいしおか」を実現していく「共生・共育・共働のまちづくり」に取り組みます。また、重点的に実施するリーディングプロジェクトと、全ての施策、事務事業において常に取り組みする施策共通テーマを定めます。

### 【将来像】

誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか



※「共働」と「協働によるまちづくり」

市・市民・地域・事業者・国・自治体等のあらゆる主体が相互的に対等な立場から、自身の役割や責任を認め合い、共に働きかけ、共に成しえていくという「共働」。共働を支えていくものとして、市民等と市が協力して行う「協働によるまちづくり」。石岡市では、目指す将来像を達成するため、「共働」のもとに、様々な施策や対策を講じます。

## 2 施策共通テーマ

### (1) 施策共通テーマとは

基本施策のうち、市の全ての施策に共通して取り組むべきものについて、施策共通テーマとして記載します。

施策共通テーマは、市の将来像実現のために展開される全ての施策、事務事業において常に取り組むべきものです。

### (2) 人口減少対策の推進

#### ■ 人口減少対策とは

本市の人口は国全体よりも早い平成7年(1995年)から減少に転じています。更に日本創成会議が発表した資料では、子どもを産み育てる若年女性(20代・30代)が半減する「消滅可能性都市」に該当しているなど、本市の人口は今後これまで以上に急速な減少が予測されています。

人口の減少は消費や経済力の低下を招き、今後の経済社会や一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されており、本市においても人口問題への対応が喫緊の課題となっています。

#### ■ 人口減少対策の進め方

人口減少が進展するなか、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるようにするため、「人口減少対策」を施策共通テーマとして位置付けます。

令和2年3月に策定した「第2期まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」のなかで掲げている基本目標「時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る」の実現に向け、以下の取り組みを推進します。

##### ① 時代に合った地域をつくる

- ・良質かつ持続可能な公共施設サービスの実現
- ・コンパクトな都市構造の検討
- ・小中学校の適正規模・適正配置の検討

##### ② 安心して心豊かな暮らしを守る

- ・空き家の適正管理の推進
- ・持続可能な公共交通ネットワークの検討
- ・地域コミュニティの維持、強化

## (3) 協働によるまちづくりの推進

### ■ 協働によるまちづくりとは

近年、少子高齢化の進行、市民ニーズの多様化、地方分権の進展など、社会情勢が大きく変化する中で、私たちは、環境、福祉、教育など暮らしに密接に関わる分野で、様々な課題に直面しています。

これらの課題を解決するには、市民、地域コミュニティ、市民公益活動団体、事業者が、市と連携、協力し、まちづくりに取り組んでいくことが一層大切です。

そのため、市は協働の基本的ルールである「石岡市協働のまちづくり条例」を制定し、取り組みを進めています。さらに、条例で定めた役割を実践していく仕組みづくりを構築していきます。

### ■ 協働のまちづくりの推進の基本理念と役割

条例では、より良い地域社会の実現のため、協働のまちづくりの基本理念を定めるとともに、市民、地域コミュニティ等と市の役割及び相互の関係を定めています。

#### ① 基本理念

- ・市民等及び市は、相互の特性及び役割を理解し、連携、協力すること。
- ・市民等及び市は、相互に対等な立場で自主性及び自立性を尊重すること。
- ・市民等及び市は、相互に必要な情報を提供し、共有すること。

#### ② 市民の役割

- ・地域の課題等に対し自発的に取り組むよう努める。
- ・市民公益活動及び市政に積極的に参加するよう努める。

#### ③ 地域コミュニティの役割

- ・地域住民のつながりを強くするとともに、地域の課題等の解決に向けて計画的に取り組むよう努める。
- ・地域住民の積極的な地域活動への参加を求め、より良い地域づくりに努める。

#### ④ 市の役割

- ・市政に市民等が参加できるための施策を積極的に提供するよう努める。
- ・市民等と連携、協力するとともに、協働のまちづくりを推進するため、適切な施策を実施するよう努める。

## (4) 行財政改革の推進

### ■ 行政を取り巻く背景

地方自治体は、その最大の目的である「住民福祉の増進」を図るため、安定的・持続的に公共サービスを提供していく必要があります。しかし、人口減少や少子高齢化の進行、高度化・多様化する公共サービスへの需要など、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。また、公共サービスを実施する上でも、新型コロナウイルス感染症などの新たな要因による影響もあり、人的・財政的な制約がさらに大きくなっています。

このような中、市民に期待される公共サービスを維持・向上させるためには、「最小の経費で最大の効果を上げる」「組織及び運営の合理化に努める」といった従来の削減型の行財政改革だけでなく、市民と行政との協働の推進や事業の再評価・重点化、行政の担うべき分野や行政資産の配分の見直し、IoTやAIなどの技術革新がもたらす社会変革への対応、働き方改革の実践など、多様な行財政改革が求められています。

### ■ 行財政改革の取り組み

このような背景の中、市民に期待される公共サービスを実施し「石岡ゆめ創生プラン」を実現するため「行財政改革の推進」を施策共通テーマとして位置付けます。

この改革においては、先にあげた背景を踏まえ、平成 27 年3月に第2次石岡市行財政改革大綱を策定し、将来にわたり公共サービスを維持・向上させるために、『行政資産の強化と公共サービスの最適化』をテーマに掲げ、計画的に取り組んでいます。さらに、平成 29 年3月に石岡市公共施設等総合管理計画を策定したほか、令和2年3月に全ての公共施設における個別施設計画の策定を完了し、公共施設の適正な維持管理の取り組みを進めています。

#### 【大綱のテーマ】 行政資産の強化と公共サービスの最適化

##### ① 『行政資産の強化』とは

公共サービスを提供するために必要となる、「人財(ヒト)」「財産(モノ)」「財源(カネ)」の「3つの財」と「情報」を「行政資産」と位置付け、この行政資産を強化することにより、資産配分の選択肢を増やします。

##### ② 『公共サービスの最適化』とは

市が保有する行政資産を最も有効に活用し、公共サービスの選択と集中を行う「資産配分の最適化」を行い、市民満足度を高めます。また、高度化・多様化する公共サービスへのニーズにこたえるため、行政以外の民間の力を活用する「提供主体の最適化」を行います。これらの最適化により、本当に必要な公共サービスを、最も適切な量と質、提供主体、提供方法で行います。

## (5) SDGsへの取り組み

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

新型コロナウイルス感染症拡大からも明らかなようにグローバル化が進んだ現代においては、様々な課題に対して、市民と行政が一体となり、解決のために団結して取り組んでいく必要があります。

本市においても、市の将来像である「誰もがいきいきと暮らし かがやくまち いしおか」を実現するため、「石岡ゆめ創生プラン」において、SDGs達成に向けた取り組みを推進します。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「石岡ゆめ創生プラン」でのSDGsの位置づけとしては、通常の事務事業や施策の垣根を超えたプロジェクト「リーディングプロジェクト」において重点的に実施し、より効果的な施策展開を図っていきます。

### 3 リーディングプロジェクト

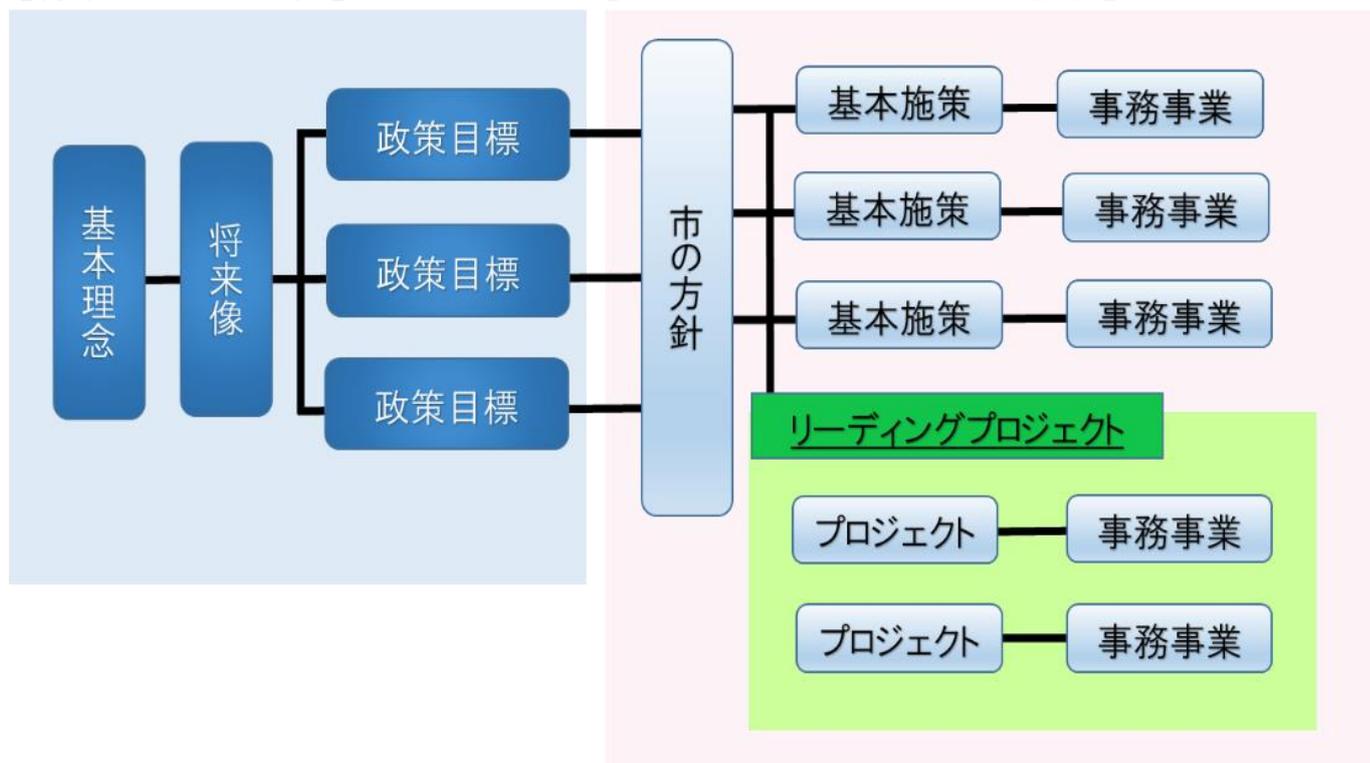
#### (1) リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトとは、将来ビジョン実現に向けアクションプラン全体を先導する事業のまとまりのことです。通常の事務事業や施策の垣根を越えたプロジェクト展開により、限りある財源の中で、より効果的な施策展開を図っていきます。

#### (2) リーディングプロジェクトの位置づけ

【将来ビジョン(10年)】

【アクションプラン(市長任期連動)】



#### (3) リーディングプロジェクトの紹介

アクションプラン計画期間内に実施するプロジェクトとして、市の方針に基づき、石岡のゆめ創生に向けて実施していくプロジェクトを7本設定しました。

アクションプラン期間内においては、特にこれらに力を入れて取り組むとともに、市内外への積極的な情報発信に努めます。また、アクションプラン期間内に事業実施に至らなくても、将来に向けて検討を進める事業は採用し、事業の進捗状況や今後の社会状況の変化等に応じて、プロジェクトを構成する事業の組み合わせは柔軟に対応していきます。

# 「石岡ゆめ創生」プロジェクト

【市の方針】 「共生・共育・共働」



【共通テーマ】 「人口減少対策・協働・行財政改革」



【リーディングプロジェクト】

## 緊急対応・地域回復プロジェクト



現在社会を取り巻く新型コロナウイルス感染症拡大を受け、市民生活や地域経済を支援する施策を実行します。

緊急対応段階として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や支援対策を講じ、さらにその後の段階として社会経済活動を再開していくための支援等を展開し、感染症に強い地域経済や市民生活全般を構築するための施策に取り組みます。



【新型コロナウイルス感染症対策 除菌水配布】

## 安心医療・生涯福祉プロジェクト



【介護予防教室】

石岡市が抱える地域医療の現状を真摯に受け止め、すべての市民が適切な医療サービスを受け、安心できる医療提供体制の構築を推進します。

また、子どもから高齢者まで、生涯にわたり充実した各種福祉サービスを提供し、誰もがいきいきと健康で生活できる環境づくりを目指します。

## 教育充実プロジェクト



石岡市には、豊かな自然、歴史があり、地域の素材を利用した、市ならではの教育を推進することのできる環境があります。

児童・生徒が健やかに育ち、豊かな心と生きる力、確かな学力を身につけられるよう未来の担い手育成に努めます。

また、地域と連携していくことで、誰もがいきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりや、生涯にわたり学びの提供に取り組みます。



【ふるさと学習サミット】

## 結婚・子育て応援プロジェクト



人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上が課題となっており、安心して結婚・子育てをすることができる環境の充実が必要となっています。

石岡市では、子どもの健康や子育てに要する費用の支援など、様々な事業に積極的に取り組んでいます。

少子化と多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを産み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。



【産後ケア】

## 安全・快適生活プロジェクト



【石岡市総合防災訓練】

日常における安全への備えが重要だと強く認識されています。市内全域での防災行政無線の運用を開始し、災害に対する備えの充実に努めてきました。さらに、安心して暮らせる環境を整えるため、防災や防犯に関する取り組みを推進します。

また、市民生活の向上や産業の振興に欠かせない都市基盤の充実を図り、快適で活力のある都市づくりを進めます。

## 雇用・産業充実プロジェクト



働く世代の転出抑制、転入促進のため、雇用の創出を図ることが必要となっています。そのため、市の強みを生かし、農業の振興や、企業の誘致など、産業の振興を図ります。

市内の就業機会の充実を図り、働く世代が住みやすいまちづくりに取り組みます。



【新規就農支援】

## 魅力アップ交流プロジェクト



【八郷地区のパラグライダー】

石岡市は、豊かな自然や歴史・文化などの様々な地域資源が多くあります。

これらの地域資源の魅力の向上を図るとともに、市内外に情報発信をすることで、交流人口の更なる増加を図るとともに、首都圏のなかでも個性輝く魅力的なまちづくりに取り組みます。

## 4 施策別行動計画（基本施策）

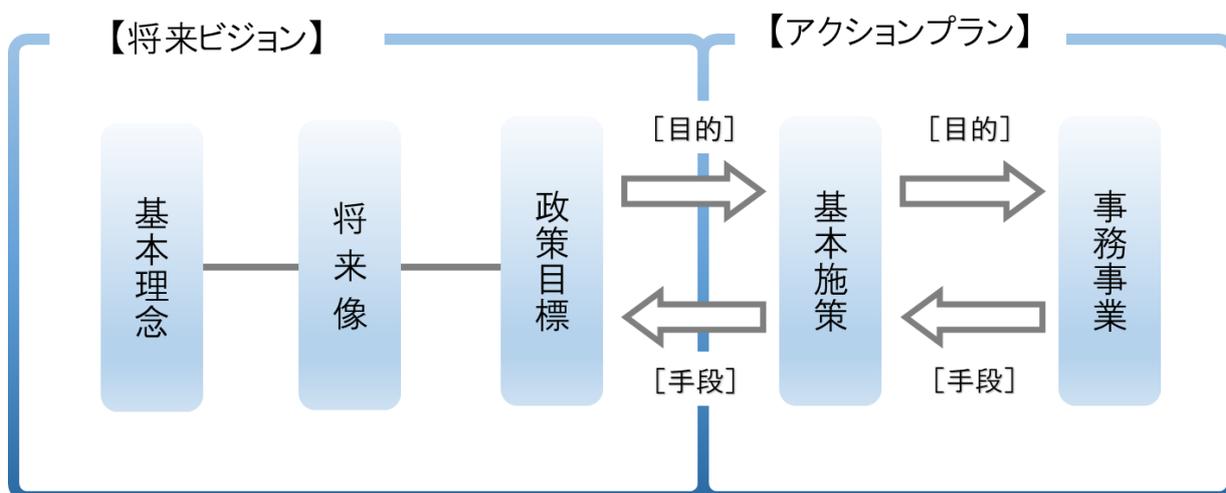
### （１）アクションプランの構成と趣旨

施策別行動計画(基本施策)では、施策単位で、長期的視点(将来ビジョン目標年次である令和3年度または、それ以降)での将来像を見据えつつ、中期的視点(アクションプラン目標年次である令和3年度を展望)に立った将来像実現のために、石岡市のおかれている現況と課題を把握し、アクションプラン期間内において、主要事業に代表される各種事業を実施していきます。

また、施策展開の進捗状況については、成果指標を設定することで継続的に検証し、より効果的・効率的な取り組みとなるよう、PDCAサイクルを活用していきます。

### （２）基本施策の位置づけ

「政策」と「施策」、「施策」と「事務事業」はそれぞれ目的と手段の関係になっています。将来ビジョンにおける「政策」とは、将来像実現のために市が目指すべき部門別のまちづくりの方向性や目的を示すものであり、「施策」とは将来ビジョンに明記された「政策目標」達成のための手段であり、「事務事業」とは施策を実現するための具体的手段、つまり予算に直結した個別事業を指します。



# 施策の大綱（参考）

